

お客様 元氣通信

むけ

お客様さま、こんにちは！ 本年もよろしくお願い申し上げます。

今年「甲辰」。甲は十干の一番目にあたり、陰陽五行では「木の陽」、辰は十二支の中の5番目で季節で言えば春真っ盛りといったところでしょうか。干支にはそれぞれの意味があり、古来より人は生きる上での様々な面での羅針盤として使われてきたそうです。これは気の遠くなるほど長い年月の中で蓄積された統計学的な見地からうみだされたものであり、現代においても人間は自然の摂理の中で生かされていることには違いないので、「うう」といって少し参考にしても良いのかな？と思えます。ちなみに今年「草木が成長し、勢いが増していく、成長発展の年」と言われているようです。良い結果は益々良くなり、その反対もまたしかり、のようです。良い方向に働くようにしたいものです。

話は変わりますが…

去年は私の父であり、弊社創業者が1月に満九十一歳で泉下の客となり、多くの方からお気持ちを寄せて頂きました。とても嬉しく、また有難いことでした。生前お世話になった皆様にはあらためて深く御礼を申し上げます。

父は弊社を創業する以前(昭和30年代)より日本酒製造設備に携わっており、独学で空調理論や発酵熱計算、建築理論などを学び全国の酒造メーカー様や醤油メーカー様を訪ねては麹室の新設・改造工事・発酵タンクの冷却設備・蔵冷房などを手掛けておりました。その経験・知識を活かし弊社を創業以降「吟醸冷却機」の開発・製作、また昨今では複数の企業が施工されておりますが、冷蔵庫に使われている断熱パネルにいち早く着目し、衛生面を考え内側をステンレス貼りした「ステンレスパネル式麹室」を考案、そこに空調理論に則った温湿度制御を付加し発売しました。そして弊社の柱製品となる「サーマルタンク」を生み出しました。とにかく現場主義で、蔵元さんを訪ねては杜氏さんはじめ蔵人と意見交換をし、常にもっと良い設備をと考えておりました。仕事が趣味、楽しみは家に帰って夕食時に飲む日本酒(もっとも若い頃のこととはわかりませんが…)で、たばこはかなり早い段階でやめました。お酒は最後まで口に「日本酒は旨い…」と言っておりまして。晩年、仕事上でかなり激しくぶつかることもあり「大〇家具か？」と社内から囁かれたこともありましたが、酒造設備の近代化の一翼を担った技術者として、またここまで弊社がこれたことには素直に尊敬し感謝しています。これからも引き続き鋭意努力してまいります。宜しくお願い致します。

エッセイ ス페인語始めました(入門編)

島貫 修一

オラ！Hola、日本語の「おら：自分自身」ではなくスペイン語で「やあ！」なぜスペイン語なの？と聞かれたら、外国語を学ぶとその言語の背景となる世界が見えて来るから。旅先で外国人観光客と英語で雑談するのも面白いが、英語を学ぶと英語の世界が見えて来る。フランス語も同じくフランス語の世界(英語の世界とは異なる)が見えて来る。そしてスペイン語を学べばまた新たな世界が見えるはず。

そんなスペイン語の世界で興味があるのは料理。料理が美味しい国はフランスとイタリアだけではなく、スペインもある。更にスペイン本国に加えてメキシコ以南のラテンアメリカ(ブラジルといくつかの小国除く)もスペイン語圏だから、食材も料理も多種多様。「食い気」だって外国語を学ぶ立派な動機になるだろう。

最初に感じたのはフランス語の親戚みだ。前置詞に同じものがあるし、名詞に男性名詞と女性名詞の区別があり、名詞の性別と数によって冠詞と形容詞と動詞が異なるのも同じ。母音は日本人でも発音が楽で、特にスペイン語の母音はアイウエオだけで日本語と同じ。英語なんて母音の数に定説が無く、諸説の中で最多の説ではなんと26。

子音のRの発音が難しいのも共通で、スペイン語の舌を震わせるRはフランス語の喉から発声するRと同様にひたすら練習するしかない。私は車を運転しながら発声練習している。誰にも聞かれる心配が無いから。ハンドルを握りながら大きい声で、ラララ、リリリ、ルルル、レレレ、ロロロと、周囲に気兼ねなく練習できる。

スペイン語を少しでも覚えたらスペインでもラテンアメリカでもなく、もっと身近な所へ行きたい。それは東京のスペイン料理レストラン。夢のない話みたいだが日本は国内で世界中の外国料理を食べられる恵まれた国。新潟市から新幹線で2時間で行けるし、パスポートも不要。レストランではメニューのスペイン語(たぶん日本語訳付き)を読んで注文し、店長や店員がスペイン人だったら会話してみたい。そしてテーブルに素敵な Senorita セニョリータが同席していたらもう最高！

妄想の世界に入ってしまった。

我が家のペット

■【コザクラインコ】

生産部 課長(設計) 川村 多巳男

我が家では6年前にコザクラインコを飼いました。知人からコザクラインコを飼って家の中がとても明るくなったと聞いたからです。小鳥を飼うまで鳥には全く興味はなく、鳥のイメージと言えばずっと鳥籠に入っているとしか思っていませんでしたが、飼ってみてそのイメージは一変しました。

我が家のコザクラインコの名は「ハル」です。春にヒナで迎えたからです。鳥は毎日鳥籠から出して部屋の中で放鳥してやります。犬の散歩と同じです。鳥も慣れてくると放鳥の時など飼い主に寄ってきてくれます。実際に自分の手に乗って、安心して眠る姿を見ていると本当に癒されます。鳥も機嫌の良い時、悪い時があり、泣き方で気分がわかります。

我が家のハルは好奇心が旺盛でいろいろなものに興味を持つ反面、気性がとても激しい鳥です。機嫌が悪いと手などを噛むこともあり、傷が絶えません。

(最近是对策を打っていますが・・・)
コザクラインコはかむ力がとても強いので、怒った時にかまれると出血を伴います。

こんなハルですが、私の大切な家族であり、癒しの源です。



ん、はまっていることばっ

■【夜回りおじさん】

技術営業部 渋谷 祐一郎

その異変に私が気が付いたのは晩秋のある夜の事でした。ひどく冷え込む夜だった事を覚えています。しかし、そんな夜よりも心胆寒からしめたソレは、ずっと早くから、ゆっくり着実に、忍び寄っていたのです。

記録的な猛暑を超え、やわらぐ日差しに一息ついていたその日、列島は急な寒気に襲われました。まるで秋を忘れてしまったかのようなせつかな寒さに、私は慌てて冬支度をはじめました。

そして恐ろしい事実気付いてしまったのです。
冬服が、きつい……。

ここ半年の冒瀟的な暴飲暴食の結果、ソレは私の腹部に遂に現れたのです。という事で、仕事終わりの夜にぶらりと散歩を始めました。特に目的もなく、ルートも決めずに1時間ぐらい歩きます。セールで買ったランニングシューズが羽のように軽く、それだけで少し歩くのが楽しくなります。

毎日欠かさず、という程でもなく、ゆるく続けて行きたいと思います。これでズボンのウエストもゆるくなってくれれば言う事なしなのですが、はてさて如何に。

「新洋技研からサラリーを得る傍ら、プライベートでは釣り・山菜取り等を通して自然界からもサラリー(自然の恵み)を得る筆者の春夏秋冬サイドビジネス“珍”日記」

技術営業部 坂井 将之

Vol.8 秋のサイドビジネス最終話 “モクスガニ獲り”

おちぼりがわ
釣行日:2023.11月中 場所:新潟県新発田市落堀川

今回のコラムを執筆するにあたり、秋に入り釣りに行ってないことに気が付く。普段の私は地域の女子小学生達にバスケットボールを指導していることから、やれ練習試合だのカップ戦だのと、週末はほぼコシで潰れます。特に、秋は全国大会に繋がる大会があるため、そこへ向けてそれらの試合の頻度が上がり、秋はサイドビジネスどころではありませんでした。

そんな時、ご近所さんから近くの川で獲れる毎年の秋の味覚“モクスガニ”を頂きました。モクスガニといえば、小笠原諸島を除く、日本全国に分布しているそうで、食用として有名な“上海蟹”と同属異種であります。(byウィキペディア)

以前は、秋になると数件のご近所さんからお裾分けを頂き、秋の味覚に困ることはありませんでしたが、昨今の高齢化で漁を辞めてしまった方も増え、秋の味覚は入手困難な事態に陥ってしまっていることに気が付きました。そこでビビッ!と稲妻が走りましたね。だったら営業品目に加えよう!と……早速、楽天でカニ網検索。送料込みの2,000円で即決ポチリ♪よく考えたら、会社のダイレクトメールのコラム書くのに身銭切ってネタ作ってるところ……会社思いの俺ってエライなあとお画自賛(笑)カニ網が到着するなり早速出漁開始です。

モクスガニは、秋から冬にかけて繁殖のために海へ下るとのことなので、下流域寄りでは人が侵入しなさそうところ(カニ網を持ち去られる可能性)に仕掛けました。エサはちょっぴり贅沢な鯖缶をチョイス。

カニ網を仕掛けて3日目……ドキドキしながらカニ網引き上げていくと……うわおっ!ウジャウジャいてテンションFULL MAX!!一度目の仕掛けで23匹と業績大好調!2度目の仕掛けも同じ位の業績と来年度以降の営業品目に追加決定です♪

調理方法は、塩ゆでが主流の様ですが、fondishを開けて根元に少し塩を振って蒸すのがおススメ。ミソが濃厚で、特に、メスは内子が入っていて、日本酒の熱燗とペアリングさせると絶品です^_^しかし、蒸上がったモクスガニは、真っ赤になると“シャア専用ズゴック”にしか見えないのは、「ガンダム世代の性」ってヤツですかね(笑)

初期投資カニ網代2,000円でこんなに獲れたら、文句なしでビジネス大成功\(^o^)/



~Fin~

ホームページリニューアル！！

この度、予てから制作を進めておりました、弊社ホームページが完成し、去る 12 月 20 日に公開の運びとなりました。今回ご協力いただきました皆様には深く感謝申し上げます。正直申し上げて「とりあえず立ち上げた」感が強いので今後改良を鋭意、重ねて参りたいと思っています。とりいそぎ完成のご報告とさせていただきますので、ご笑覧いただけますと幸いです。

▼新ホームページ URL

<https://www.shinyo.co.jp>

なお、お気づきの点などございましたら、FAX(025-362-1616)かメール(yoshinori@shinyo.co.jp)に送信いただけますと幸いです。
電話(025-362-1611)でもお受けいたしますので、事業企画・広報室の明間(アケマ)までお願いいたします。 敬具

◆ちょっと豆知識◆その 58「青春って、すごく密なので…」



技術営業部 取締役部長 成田 護 (mamoru@shinyo.co.jp)

私事で恐縮ですが、この春に次女が大学を卒業します。

大きな会社に拾ってもらい、4 月からは東京での生活をスタートさせるようです。

彼女の卒業を祝う晚餐を企画し、卒業式及び卒業祝賀会の日程を確認したところ、卒業式にも祝賀会にも出席する気はない、との回答に驚きました。彼女が言うには「大学には愛着を感じない」のだそうです。

2024 年 3 月に大学を卒業する学生さんたちは 2020 年 4 月入学。そう、新型コロナが世界中に広まっていくまさにドンピシャのタイミングで、私の次女の例でいえば高校の卒業式は中止、大学の入学式も中止、授業は大学 2 年生まで全てリモート、学科の同級生にリアルで対面したのは大学 3 年生の春、飲食店は閉まっていたアルバイトの口もなく、かなりの長期間家に籠って YouTube 観てるしかなかったきわめて稀有な世代です。

私の次女の場合は文系ということもあり、大学 4 年生は週一ゼミのために大学に行くという生活で、リアルに大学に通ったのは 3 年生の 1 年間だけ、ということになります。

話はかわりますが私の大学の同級生が母校で学生実験の補助スタッフをしていて、先日同窓会があった際にその方から興味深い話を聞きました。

曰く、今年の春に研究室に配属された新四年生、これまでの学生とかなり拳動が違っていたそうで、一人二人でなくほとんどの学生に共通する特徴として、

- ・用事がないと研究室に来ない（用事がなければ大学に来るなど言われた世代）
- ・研究室の共同役務を嫌がる（これも独りぼっちで生活してきたことの影響でしょうか）
- ・指導教官や先輩からの適切な指導でもメンタルを病みがち（対人関係の経験値が少ない）

指導教官と保護者との面談があちこちで頻繁に行われ、教官側がメンタルやられないか心配だった、というのは笑えない話です。

そんな 4 年生の学生さんも半年娑婆の空気を吸うとまとも？に研究生を送れるようになっているとのこと。

対照的に今の 3 年生は学生実験が終わっても、用事のない学生は皆校舎に残ってワイワイガヤガヤ話し込んでいて、職員が帰るよう諭してやっと帰るのだそうです。「ぼっち」の反動なのかな、なんてことを思います。

2024 年 3 月に卒業する大学生の数は統計が見つけられませんが、2020 年 4 月に大学に入学した学生数は 262.4 万人だそうです（文科省学校基本調査より）、全部ではないにせよかなりの数の「稀有な世代」がこの春社会に旅立つことになります。

「青春って、すごく密なので…」は自身の学生時代を思い返してもまごうことなき真実。新社会人には失われた青春を取り戻して欲しい、そう強く思っています。

“ちょっと一息”

No.39

未来につなぐ



基幹事業サポート 山本 知男

私のやっってる趣味の話ですが、私が所属している団は毎年 1 回春に演奏会を催します。

今年は「未来につなぐ」をテーマに行いました。それは来年は創立 45 周年の記念の年なので、その「来年につなぐ」としたものでした。

それで来年は何をつなごうかと、いろいろ検討していますが決まりません。

来場して頂いたお客様にも喜んで頂き、そして団員みんなの未来にも繋げて行けるもの、となるとなかなか面倒です。

そんなこんなで苦戦している中で出ている案としては、愛、夢、希望等々。

若い人が言うとサマになります、前期高齢者の私が言うと、色ボケとかエロじじいとか言われそうでちょっと抵抗ありますね。

でも音楽と言うのは、いつの時代でも誰にでも夢や希望、勇気を与えてくれるものだと思います。

今の NHK の朝ドラ“ブギウギ”でも、戦時中の暗い時代に生きる勇気や希望、明るさを与えてくれたようで。（うちのママさんがハマってて、土曜の朝はそれを見せられてます。）今の私達も好きな曲なんか聴いてると元気になったり前向きな気持ちになれる。そんな不思議な力が音楽にはあると思います。うちの団の演奏でも、聴いて頂いた人達から楽しかったとか元気が出た等の言葉を頂き、大変嬉しく思うものです。やっぱり来年の演奏会のテーマは「未来につなぐ、愛」かな。団員の皆さんなどんな顔するかな(〜))。